



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス

コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鹿島 亨

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長

(氏名) 北井 誠

TEL 03-5979-2666

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,165	△4.6	899	10.6	957	8.0	511	△15.8
24年3月期第2四半期	15,895	△2.5	813	1.7	886	3.7	607	53.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 307百万円 (△39.3%) 24年3月期第2四半期 506百万円 (312.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	38.91	38.90
24年3月期第2四半期	43.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,031	15,467	57.1
24年3月期	27,478	15,678	57.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,431百万円 24年3月期 15,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	40.00	40.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,900	4.4	2,600	4.4	2,700	1.7	1,660	34.6	126.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名)
、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	15,240,000 株	24年3月期	15,240,000 株
25年3月期2Q	2,101,684 株	24年3月期	2,101,630 株
25年3月期2Q	13,138,343 株	24年3月期2Q	13,839,770 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12
(7) 重要な後発事象	13
5. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかな回復傾向にありましたが、後半には、世界景気の減速の影響で個人消費はほぼ横ばい、生産・輸出は弱含む等、回復の動きに足踏みが見られるようになりました。

情報サービス業界におきましては、顧客のIT投資は回復基調が継続したものの、競争激化により依然として厳しい受注環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画の2年目として、『**既存事業の構造改革推進による収益力の向上・強化**』と中長期成長戦略である『**自社IP製品ビジネスの推進と海外新規事業への取り組みによる成長性の確保**』を引き続き推進しました。

■既存事業の構造改革推進による収益力の向上・強化

1. 営業強化による受注・売上拡大

案件の創出から受注までの案件管理を一層強化した結果、グループの中核事業会社の株式会社S R Aと株式会社ソフトウェア・サイエンスの売上は増加しました。また、株式会社A I Tは、前年同期の大型案件の反動で売上は減少しましたが、第3四半期の引き合いは前年比で増加しており、堅調な受注状況が続いています。なお、S R A(Europe)B. V. につきましては、主要顧客のリストラの影響により売上は減少しました。

一方、S R Aグループは、オープンソースソフトウェアの技術優位性を活かし、顧客の現行システムの拡張性を高めるJavaへの言語移行や低コストのデータベースへの移行を行うマイグレーションサービス(※1)を本格的に開始しました。

また、クラウド分野においても、株式会社A I Tが、日本アイ・ビー・エム株式会社の「IBM SmarterCloud Enterprise」を利用した「災害時用掲示板システム」をクラウドで構築するなど、積極的にビジネスを展開しております。

2. 収益性の高い生産体制の構築

開発事業および運用・構築事業におきましては、引き続き配員管理の強化と生産間接費の適正化に努めた結果、粗利益率はいずれも前年同期実績を上回りました。

3. 事業規模に見合うコスト構造への変革

生産原価と販管費の適正化に継続して取り組みました。

※1 マイグレーションサービス

システム移行に伴い、プログラムやデータを変換する作業のこと。異なるOSのシステムにアプリケーションを移行する場合、プログラム移行やデータ移行、データ変更が必要になるが、これもマイグレーションの1つ。

■自社IP製品ビジネスの推進と海外新規事業への取り組みによる成長性の確保

(「自社IP製品ビジネス」×「海外ビジネス」)

S R Aグループはクラウド、ワイアレスデータコミュニケーション等の成長分野における自社IP製品ビジネス(※2)を米国で発掘し、中国・ASEAN等の成長市場で展開する「自社IP製品ビジネス」×「海外ビジネス」に取り組んでおり、当期は以下のとおり進捗しました。

1. クラウド分野の取り組み

株式会社S R Aは、データセンターオートメーションサービスの先進企業であるnSolutions, Inc.の知的財産権を含む全資産を引き継ぐ方針で、新会社Cavirin Systems, Inc.を9月に米国で設立しました。今後は、「NOVA」やクラウドに対応した「vNOVA」を軸に、さらなる販売体制の強化を図り、アメリカをはじめ成長市場の中国・インド・ASEANもターゲットにして自社IP製品ビジネスを展開してまいります

2. ワイアレスデータコミュニケーション分野の取り組み

株式会社S R Aは、本年1月には、中国全土に有力な販売チャネルを持ち、ワイアレス機器の製造・販売を行っている鑫鑫浪电子有限公司(Kingnet)に投資を行って中国における販売チャネルを確保しました。それを活用し、S R Aグループの業務・資本提携先であるProxim Wireless Corporation(※3)の製品を中国で販売しており、現在は、中国大手通信設備会社との商談も進行中です。

3. 中国ビジネスへの取り組み

株式会社S R Aは、4月には、株式会社S J Iとの業務・資本提携関係の強化を目的にして、同社の株式50,000株を追加取得し、さらに同社が中国における日本企業向けオフショア開発事業の拡大のために進めていた中訊軟件集団股份有限公司(SinoCom Software Group Ltd.)の株式取得に必要な資金の一部(25億円)の貸付も行いました。

※2 自社I P製品ビジネス

知的財産権を有する、収益性の極めて高い自社ブランドの製品ビジネス

※3 Proxim Wireless Corporation

ワイアレスデータコミュニケーションにおける先進的な製品を製造・販売する米国の無線機器メーカー。
世界各国で多数の導入事例あり。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高については、開発事業は微増、運用・構築事業はほぼ横ばいとなり、販売事業が減少した結果、15,165百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

損益面については、売上高が減少したものの、利益率の向上により売上総利益が増加し、営業利益は899百万円(前年同四半期比10.6%増)、経常利益は957百万円(前年同四半期比8.0%増)となりました。また、特別利益は、投資有価証券売却益等を計上したものの、前年同期にこれを上回る額(役員保険の受取保険金)を計上しているため大幅な減少となり、その結果、四半期純利益は511百万円(前年同四半期比15.8%減)となりました。

上記のとおり当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前年同期に比べ、売上高は減少しましたが、営業利益、経常利益は増加しました。また第2四半期の連結業績予想に対しては、営業利益、経常利益はほぼ同じ水準を確保することができました。

当第2四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、大学向けと不動産向けが増加した結果、当事業の売上高は7,881百万円(前年同四半期比3.7%増)となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、企業向けが減少したものの、大学関連が増加した結果、当事業の売上高は1,671百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社S R Aがほぼ横ばいとなりましたが、株式会社A I Tにおいては、前年同期の流通分野の大型案件に匹敵する案件がなかったため、当事業の売上高は5,612百万円(前年同四半期比15.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

当第2四半期連結累計期間における資産合計は27,031百万円(前連結会計年度末比1.6%減)、負債合計は11,564百万円(同2.0%減)、純資産合計は15,467百万円(同1.3%減)となりました。

前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産合計)

受託開発の仕掛品が498百万円増加し1,481百万円、業務・資本提携強化のため株式会社S J Iへ貸付を行ったこと等により、短期貸付金が2,723百万円増加し2,863百万円となりました。一方、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が1,094百万円減少し5,350百万円、コマーシャルペーパーの売却等により有価証券が723百万円減少し805百万円、減価償却等により無形固定資産が93百万円減少し1,011百万円となりました。

(負債合計)

受託開発の工事損失引当金が70百万円増加し237百万円となりました。一方、法人税等の支払により未払法人税等が224百万円減少し344百万円となりました。

(純資産合計)

有価証券及び投資有価証券の時価評価により、その他有価証券評価差額金が170百万円減少し120百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,574百万円減少し、6,922百万円(前年同四半期比379百万円減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,053百万円(前年同四半期比45.3%増)となりました。

これは、主に売上債権の減少1,089百万円、税金等調整前四半期純利益969百万円等のプラス要因と、法人税等の支払額697百万円、たな卸資産の増加499百万円等のマイナス要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,094百万円(前年同四半期比63.3%増)となりました。

これは、主に貸付による支出3,323百万円、投資有価証券の取得による支出664百万円等のマイナス要因と、投資有価証券の売却による収入520百万円、貸付金の回収による収入503百万円等のプラス要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、525百万円(前年同四半期比37.8%減)となりました。

これは、主に配当金の支払額525百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日に開示しております「平成24年3月期決算短信」の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,697	6,622
受取手形及び売掛金	6,444	5,350
有価証券	1,529	805
商品及び製品	349	349
仕掛品	982	1,481
繰延税金資産	498	524
短期貸付金	139	2,863
その他	664	731
貸倒引当金	△28	△39
流動資産合計	19,277	18,690
固定資産		
有形固定資産		
建物	331	329
減価償却累計額	△215	△225
建物(純額)	115	104
機械装置及び運搬具	568	573
減価償却累計額	△517	△510
機械装置及び運搬具(純額)	50	62
土地	0	—
その他	100	101
減価償却累計額	△69	△70
その他(純額)	31	30
有形固定資産合計	197	197
無形固定資産		
その他	1,104	1,011
無形固定資産合計	1,104	1,011
投資その他の資産		
投資有価証券	4,082	4,293
繰延税金資産	1,289	1,260
差入保証金	413	405
その他	1,205	1,265
貸倒引当金	△14	△14
投資損失引当金	△78	△79
投資その他の資産合計	6,897	7,132
固定資産合計	8,200	8,341
資産合計	27,478	27,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,804	2,733
短期借入金	1,609	1,609
未払費用	661	686
未払法人税等	568	344
未払消費税等	290	162
賞与引当金	616	622
役員賞与引当金	58	33
工事損失引当金	167	237
関係会社整理損失引当金	41	41
その他	865	977
流動負債合計	7,682	7,448
固定負債		
長期借入金	300	300
繰延税金負債	1	3
退職給付引当金	3,659	3,658
役員退職慰労引当金	154	152
その他	1	1
固定負債合計	4,116	4,115
負債合計	11,799	11,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	11,642	11,628
自己株式	△1,393	△1,393
株主資本合計	15,732	15,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290	120
為替換算調整勘定	△373	△407
その他の包括利益累計額合計	△83	△287
新株予約権	29	36
純資産合計	15,678	15,467
負債純資産合計	27,478	27,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,895	15,165
売上原価	13,279	12,488
売上総利益	2,615	2,677
販売費及び一般管理費	1,802	1,777
営業利益	813	899
営業外収益		
受取利息	51	87
受取配当金	25	25
その他	40	32
営業外収益合計	118	144
営業外費用		
支払利息	15	14
為替差損	17	39
その他	11	32
営業外費用合計	44	86
経常利益	886	957
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11
その他	170	0
特別利益合計	170	12
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券売却損	—	0
その他	63	0
特別損失合計	65	0
税金等調整前四半期純利益	992	969
法人税、住民税及び事業税	345	474
法人税等調整額	39	△16
法人税等合計	384	458
少数株主損益調整前四半期純利益	607	511
四半期純利益	607	511

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	607	511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△170
為替換算調整勘定	△39	△33
その他の包括利益合計	△100	△203
四半期包括利益	506	307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506	307
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	992	969
減価償却費	135	212
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8	△2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△303	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	69	6
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	29	△24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	10
投資損失引当金の増減額(△は減少)	10	—
受取利息及び受取配当金	△77	△112
支払利息	15	14
投資有価証券評価損益(△は益)	1	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△11
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
固定資産除却損	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,031	1,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	△663	△499
仕入債務の増減額(△は減少)	△97	△63
その他の負債の増減額(△は減少)	384	155
未払消費税等の増減額(△は減少)	△152	△128
その他	△148	65
小計	1,247	1,679
利息及び配当金の受取額	77	85
利息の支払額	△15	△14
法人税等の支払額	△585	△697
営業活動によるキャッシュ・フロー	724	1,053
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24	△31
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△615	△106
投資有価証券の取得による支出	△2,183	△664
投資有価証券の売却による収入	901	520
貸付けによる支出	△506	△3,323
貸付金の回収による収入	352	503
定期預金の預入による支出	△70	—
その他	251	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,894	△3,094

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△292	—
長期借入れによる収入	300	—
社債の償還による支出	△300	—
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△553	△525
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845	△525
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,008	△2,574
現金及び現金同等物の期首残高	9,309	9,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,301	6,922

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,601	1,664	6,629	15,895	—	15,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	140	200	359	△359	—
計	7,620	1,805	6,829	16,254	△359	15,895
セグメント利益	904	272	285	1,462	△649	813

(注) 1. セグメント利益の調整額△649百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結累計期間より当社が行う経営管理上のセグメント業績評価基準を変更したことに伴い、各事業セグメントの測定方法を変更しております。また、従来の方法によった場合に比べて、開発事業107百万円、運用・構築事業26百万円、販売事業110百万円の各セグメント利益がそれぞれ減少しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,881	1,671	5,612	15,165	—	15,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	169	256	447	△447	—
計	7,902	1,841	5,869	15,612	△447	15,165
セグメント利益	910	306	294	1,511	△612	899

(注) 1. セグメント利益の調整額△612百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間の各セグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業(百万円)	8,481	105.6
運用・構築事業(百万円)	1,697	101.6
合計(百万円)	10,179	104.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

②仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 (%)
販売事業(百万円)	3,568	74.0
合計(百万円)	3,568	74.0

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

③受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	8,182	96.8	4,164	95.4
運用・構築事業	1,393	107.6	1,124	106.2
販売事業	5,249	73.5	3,186	90.6
合計	14,825	87.8	8,474	94.8

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

④販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業(百万円)	7,881	103.7
運用・構築事業(百万円)	1,671	100.4
販売事業(百万円)	5,612	84.7
合計(百万円)	15,165	95.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以上